

金融研究センター特別研究員公募

研究プロジェクト

【論文等執筆方式】

「国内株式アクティブ運用ファンドにおける運用力（インフォメーションレシオ）の考察」

＜任期：1年間（延長の可能性あり）＞

資金の好循環を実現し企業価値の向上と収益の果実を家計にもたすために、インベストメント・チェーンの中でも資産運用会社は重要な存在であり、資産運用会社相互の健全な競争が促進するために資産運用業全体の運用パフォーマンスの「見える化」を進めることが重要。

こうした問題意識のもと、2020年6月に金融庁が公表した『資産運用業高度化プログレスレポート2020』では、シャープレシオを用いた国内公募投信のパフォーマンス比較を行った。

本研究では、運用パフォーマンスのさらなる実態把握のため、ベンチマークに対する超過収益を考慮した指標（インフォメーションレシオ）を用いたアクティブ運用型投信の運用力に関する分析を実施する。

具体的には、わが国における主要投資対象である国内株式の投資信託について、特にアクティブ運用型投信のインフォメーションレシオを以下のような観点から計測・集計し、アクティブ運用の有効性や継続性について研究を行う。

1. 純資産総額との因果関係
2. 運用コストとの因果関係
3. リスク特性との因果関係
4. 運用力の継続性についての考察